

財産の戦略デザイン研究会 月例セミナー

# 財産の戦略デザイン BS・PLコンサルティング

2025年1月24日  
株式会社継志舎  
石脇俊司

# B/SとP/L を使ったコンサルティング



会社の決算書  
個人の所得税の確定申告書

How toではない！

コンサルティングを実践する【行動する】  
そのためのお話し

今日は、会社、未上場の会社の社長へのコンサルティングを中心にお話し

# みなさんは、どのタイプ？

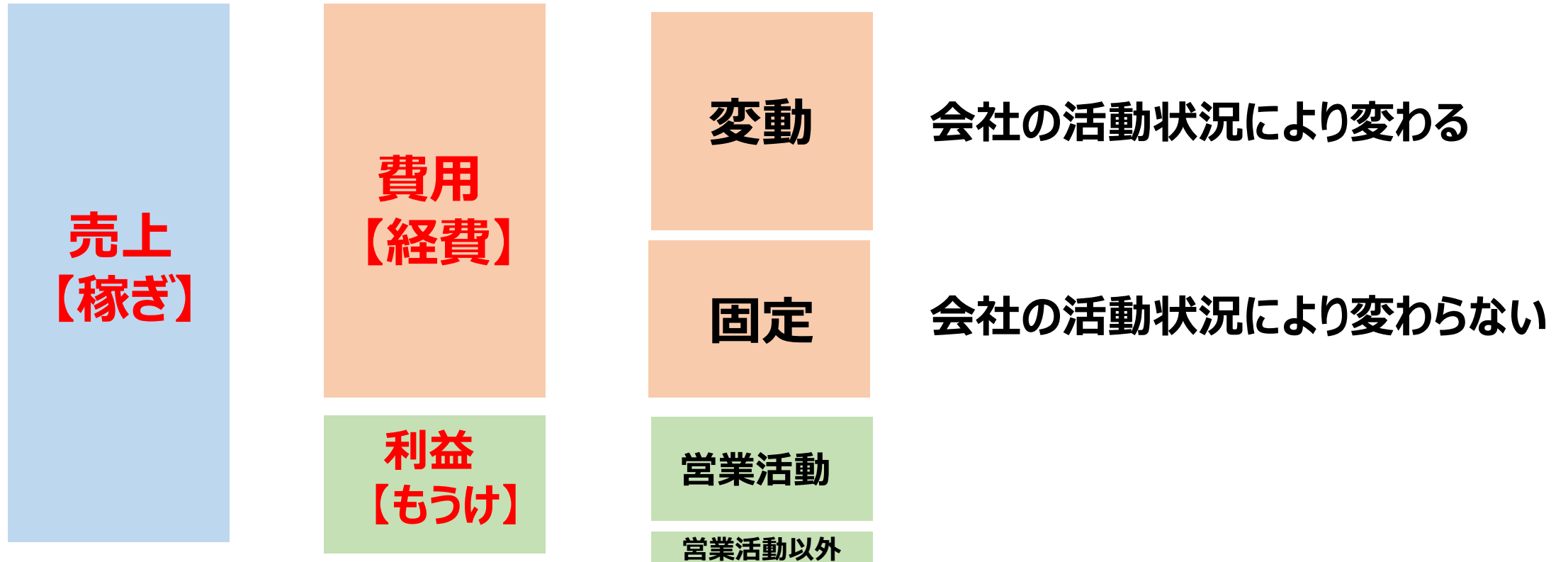
1. 知る・学ぶ ⇒ **Worst**
2. 学んで、決算書の分析の仕方を知る ⇒ **Worse**
3. 学んで、**お客さまに話し**をして、**決算書を得て**分析する ⇒ **Better**
4. 学んで、**お客さまに話し**をして、**決算書を得て、  
コンサルティングに着手する** ⇒ **Best**

B/SとP/Lを見てみましょう

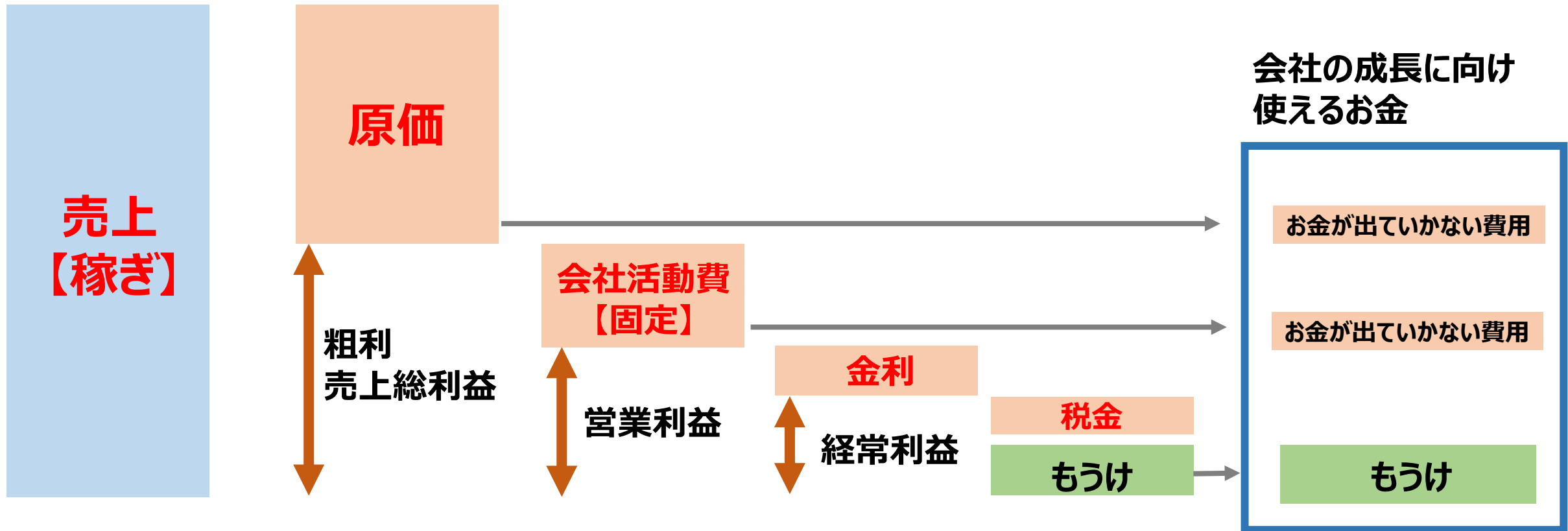
**学ぶ・分析する**

**難しいことは、考えない、言わない**

# (私の) コンサルティングする際のP/Lのイメージ ①



# (私の) コンサルティングする際のP/Lのイメージ ②



## 売上高総利益率

ここが高くないと、人件費も上げられない

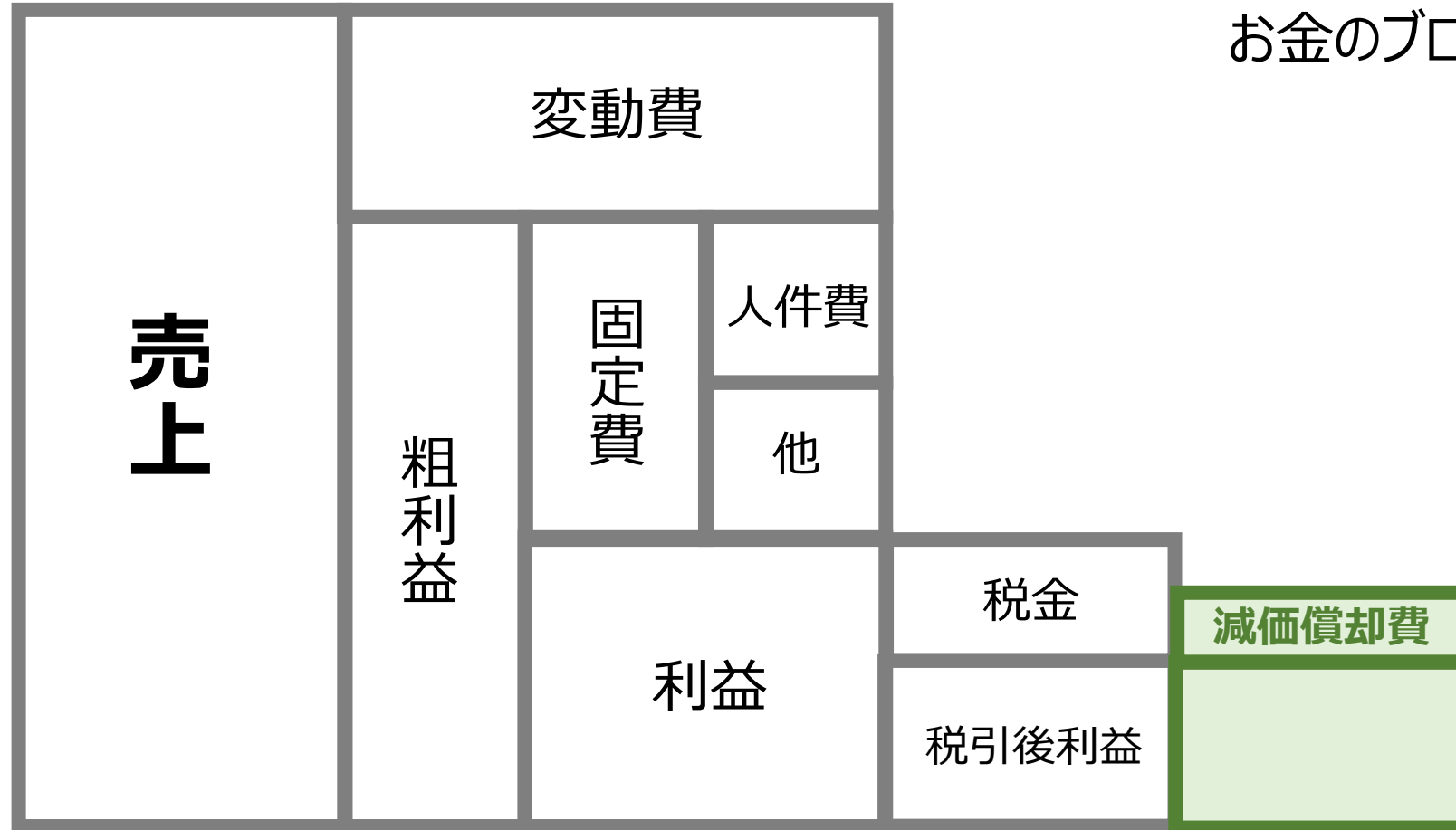
売上高営業利益率

**数値よりイメージを！**

売上高経常利益率

# 利益と将来に向けて使えるお金

## P/Lを分解してみる

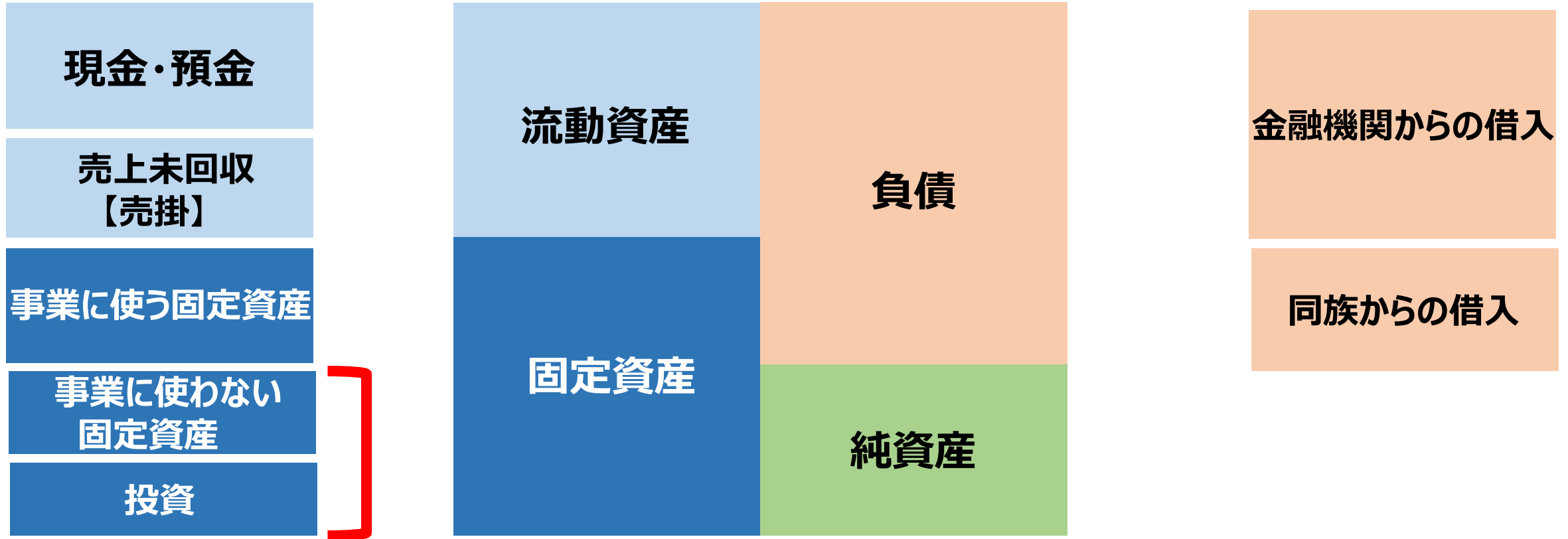


お金のブロックパズルというツール

どう使う？



# (私の) コンサルティングする際のB/Sのイメージ ①



4つの区分  
色分けして、一目でわかるように

# (私の) コンサルティングする際のB/Sのイメージ ②



## 安全性

1. 自己資本比率
2. 流動比率
3. 当座比率
4. 固定長期適合率
5. 手元現金預金比率

# 中小機構の経営自己診断システムが便利！

経営自己診断システム

経営自己診断システムとは

操作方法

結果の見方

よくあるご質問

ご相談窓口



## 決算書を入力して経営状態を確認

中小機構による中小企業のための経営分析ツールです。



### 豊富な財務データを収録

200万社以上の中小企業データから比較



### かんたん操作

決算書の財務情報を入力するだけで、分析結果を表示



### 登録不要の無料診断

個人情報の登録不要、安心して利用できる無料ツール

診断スタート ▶



# 【参考】中小機構 経営診断システムの診断結果 ①

## 総合分析結果

業種名

専門サービス業（他に分類されないもの）

サンプル数

66,107社



診断項目	平均得点
収益性	5.00
効率性	4.33
生産性	6.00
安全性	6.90
成長性	8.00

&gt;&gt;&gt; 診断項目のうち、貴社の…

最も得点が高い項目は

**成長性**

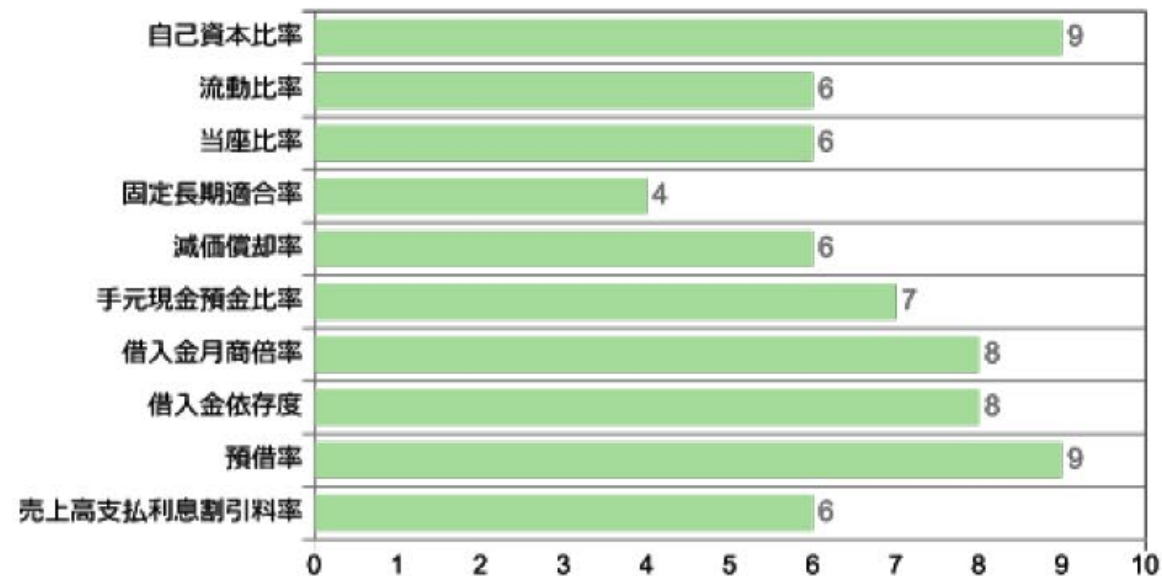
最も得点が低い項目は

**効率性**

## 安全性



「安全性は、中央値を上回っています」



## 流動比率

---

○ 算出式（流動資産合計 ÷ 流動負債合計） × 100

○ 指標の意味

短期的な債務である流動負債とこれに対応する流動資産との比率。

一般的にはこの比率が高いほど短期的な支払能力が高いと言えます。

しかし、業種・業態によるバラツキが大きいため、業界での相対的な位置で判断する必要があります。

## 当座比率

---

○ 算出式（（現金・預金 + 受取手形 + 売掛金） ÷ 流動負債合計） × 100

○ 指標の意味

当座資産（現金・預金 + 受取手形 + 売掛金）と流動負債の比率。

流動負債を当座資産で支払う能力がどの程度あるかを示します。

この数値が高いほど短期の支払能力は高くなります。

当座資産は棚卸資産やその他の流動資産に比べて現金化までの期間が短く、即時支払手段の性格を有します。

## 固定長期適合率

---

○ 算出式 固定資産合計 ÷（固定負債合計 + 純資産合計） × 100

○ 指標の意味

自己資本と固定負債によって固定資産がどの程度賅われているかを示します。

この数値が低いほど経営安全性は高くなります。

土地や建物などの固定資産を短期借入金などの流動負債で賅うと金融逼迫時に借換えができないなど資金繰りが不安定になります。

# 各指標の解説もある

## 『3つのこと』を実践する

1. クライアントに話す **これが一番大切！**
2. **決算書【B/SとP/L】を得る** **これが難しいのでは？**
3. コンサルティングに着手する



# みなさんは、B/SとP/Lを見る視点が違うことを認識する

決算書【B/SとP/L】を作成するのは、税理士 ⇒ 納税のため

社長から、決算書【B/SとP/L】を提示してもらい、分析するのは、金融機関  
⇒ 債権管理  
貸してもよい先？

**社長のために、未来に向かって、決算書【B/SとP/L】を見ている人は、少ない**

**社長の財産を増やすため、 会社の財産を増やすため**

# 【余談】証券アナリストの視点は？

**視点** 将来、儲かるために

株価 = 1株あたりの利益 × 期待値



**将来の利益**



人気 **これからの人気は??**

予定の**利益**が得られない、**人気**がなくなる ⇒ **株価は暴落!**

上場している会社は、決算書は開示されている！ B/S,P/Lは、誰もが見ることの資料

## 未上場会社のB/S、P/Lは開示されていない

会社にとって、他者には見せたくない資料でもあり、重要な資料

社長（お客さま）は、それを、簡単には見せてくれない

お客様のためになるから！ と話しをして

なぜ、決算書【B/SとP/L】を、提示して欲しいのか？ を伝えること

お客様の  
未来に向けて

お客様の財産を、増やして ○億円にしていく ため

お客様の事業資産を、増やして ○○億円にしていく ため

未来に向かって、B/SとP/Lを見る

# あなたのコンサルティングは、お客さまの不安を解消する

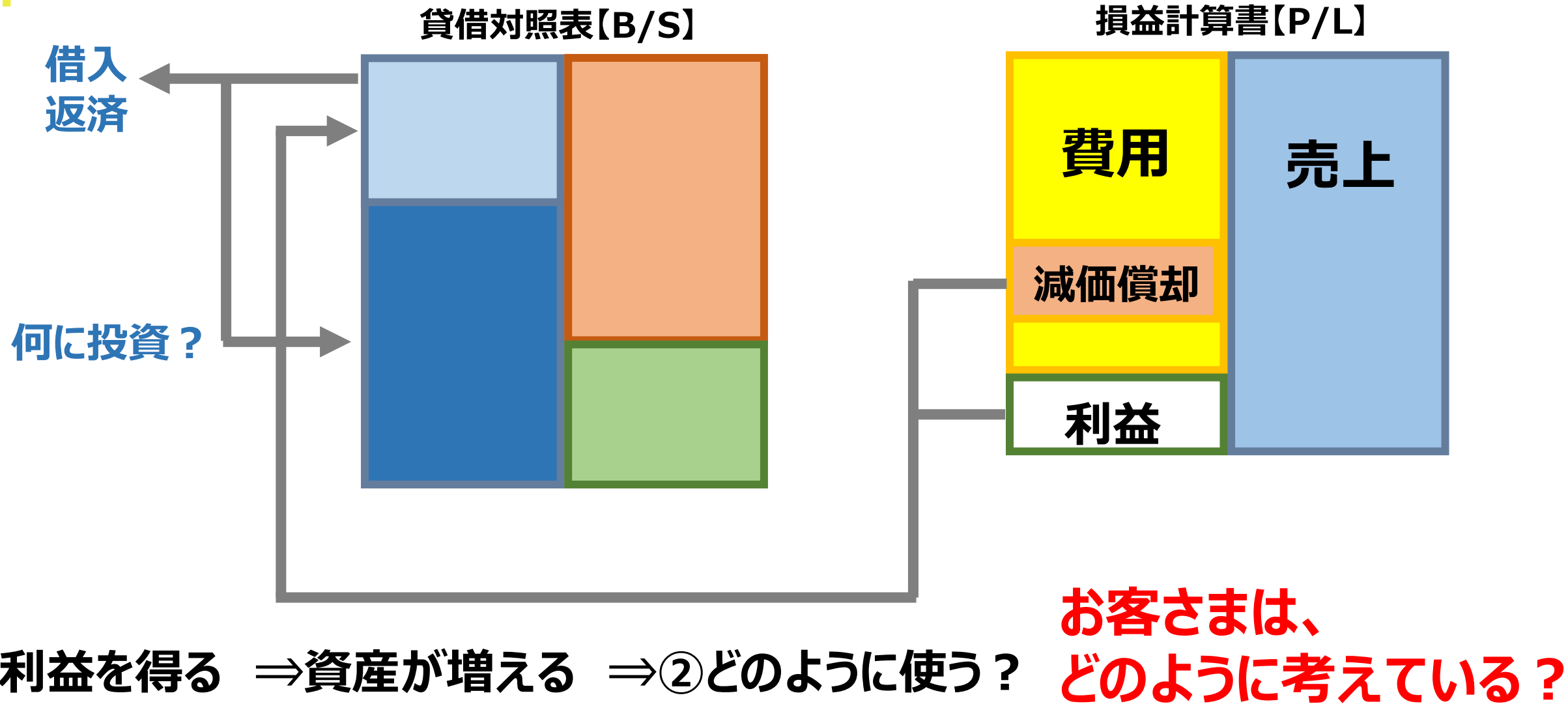
お客さまは、お金の流れが見えていない！

不安はある ⇒【しかし、顕在していない】

**その不安を解消する！**

**お客さまに簡単にイメージしてもらい、不安を解消していきたいと思ってもらおう！**

# お金の流れ【超基本！ だが一番重要！！】



これまでのお金の流れを見る

最適な資料が、B/SとP/L

**お客さまの資産を増やしていくため、今のお金の流れがよいのか？**

**それを分析するためには、B/SとP/Lが必要、と言う**

# B/SとP/Lでお客さまと何を話す？

1. (たくさん) 利益を得るには？ ⇒ **P/LとB/S**
2. 利益で増えた資産を、どう使う？ ⇒ **B/S**
3. 使った結果、資産の状況はどうなった？ ⇒ **B/S**  
利益はどう上がった？ ⇒ **P/L**



ほとんどは、

検証は、社長まかせ

になっている

**伴走して、チェックして、改善をサポートしてあげる、とよい**

## 『お客さまのためになる』と、自信をもって言えますか？

あなたが、言えたとしても、

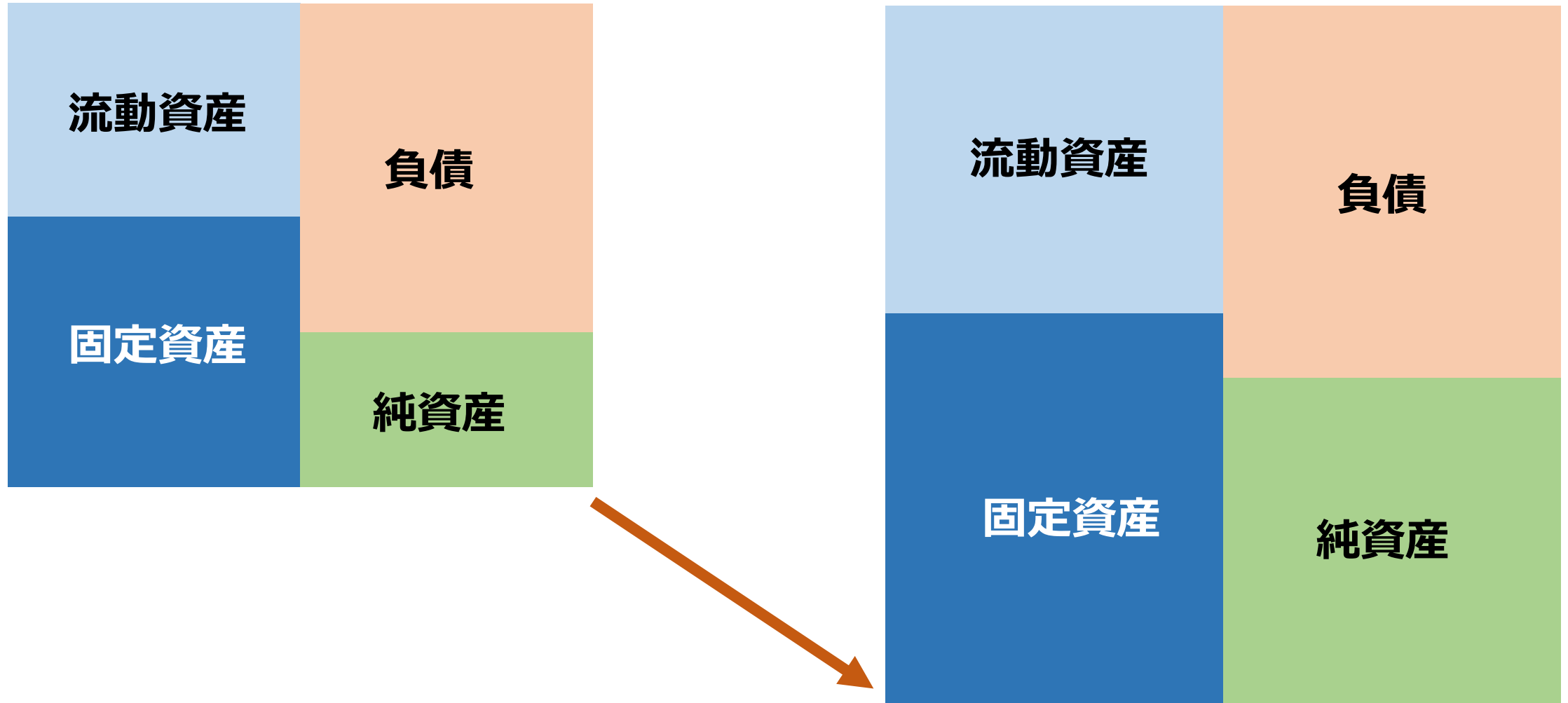
お客さまは、「私のためになる効果、本当に与えてくれるの？」と思うかもしれない？

あなたの**信用**【実績】は？ ⇒ **まだ、信用が無ければ、つくればよい**

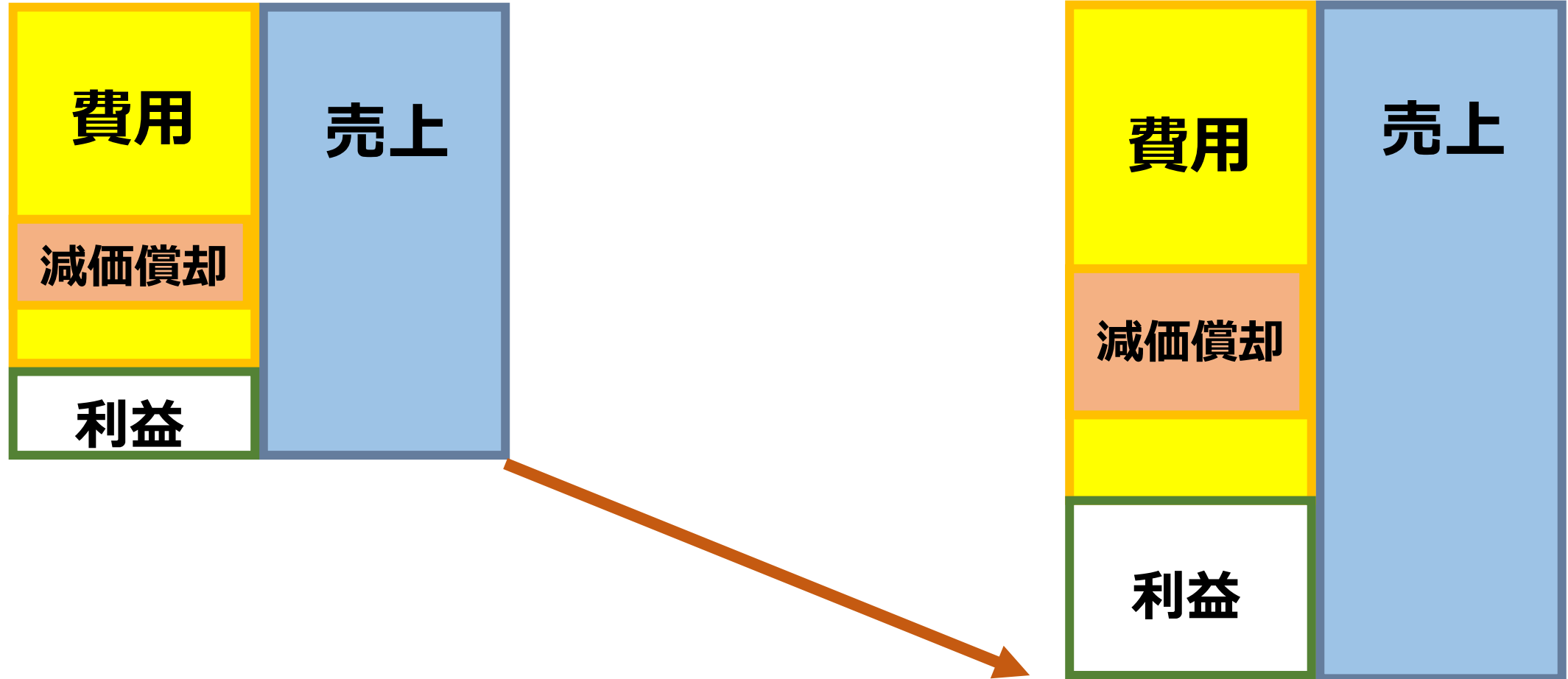
あなたへの**信頼**【あなたのためではなく私（お客さま）の利益のため】は？

⇒ **まだ、信頼関係ができていなければ、作ればよい**

**行動しよう！**



# 会社の売上を上げて利益を増やす





# 私が、お預かりします

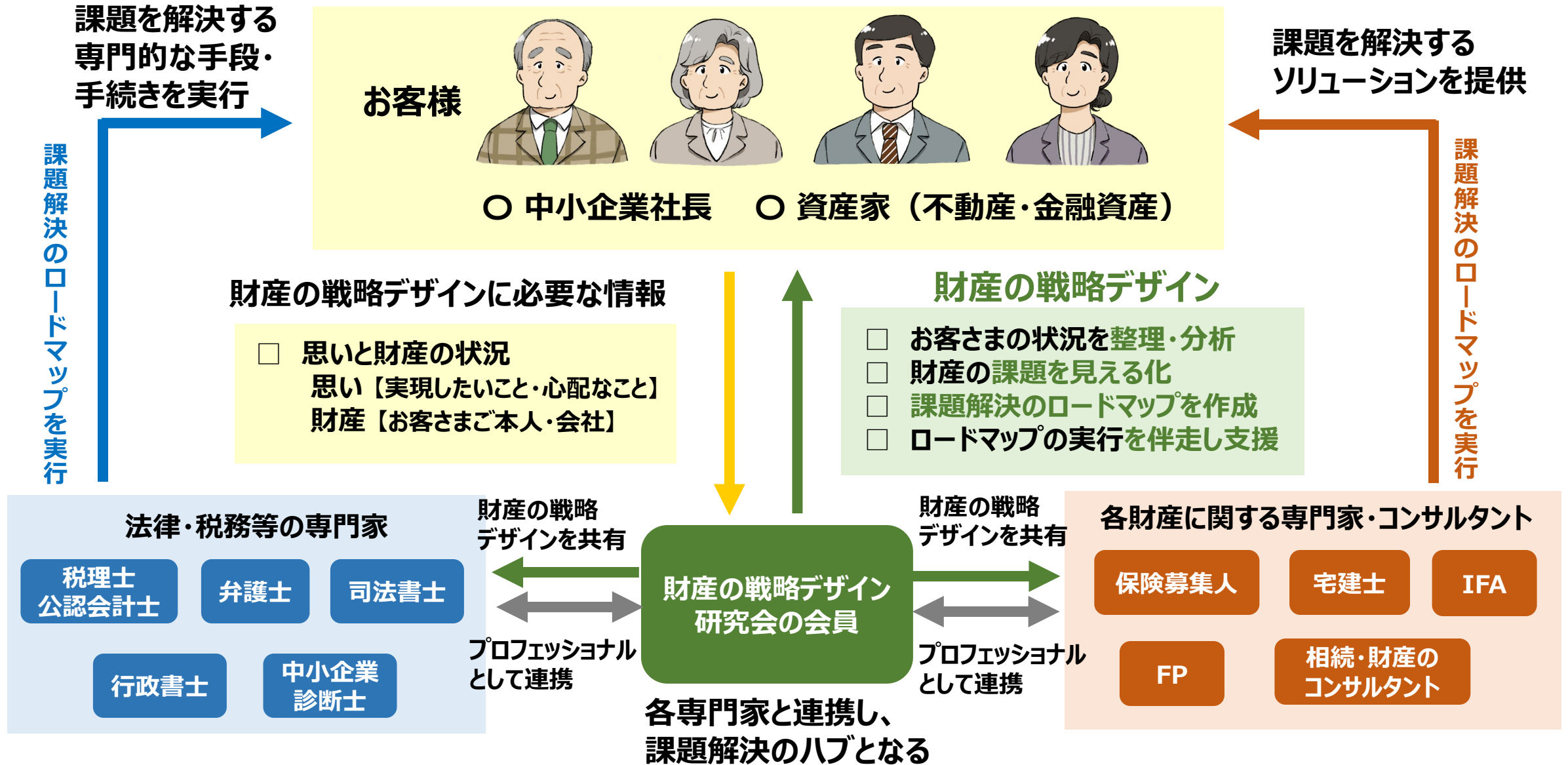
と、言えますか？

テレビ朝日  
ドラマ プライベートバンカー HPより抜粋

# 行動しましょう！

財産の戦略デザイン研究会が、その行動をサポートします！

# 財産の戦略デザインが、お客様の財産の課題を見つけ出し、その課題を解決する



2月27日（木） 18時～19時

Zoomを利用したのオンラインセミナーです



## ご留意事項

- 本資料は、作成日現在の法律・税制等に基づくものです。
- 本資料にシミュレーションが含まれる場合、前提として記載している想定条件に基づくシミュレーションであり、実際の状況とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。
- 本資料は、情報を提供するために作成したものであり、その確実性・完全性に関して保証するものではありません。実際の個別具体的な税務に関する相談、法律に関する相談については、本資料を取得された方ご自身の責任で弁護士、会計士、税理士などの各専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。
- 本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。当社は本書のアップデートを行うことをお約束いたしません。
- 本資料に記載された商品・サービス等については、その実行・提供をお約束するものではありません。
- 本資料は当社の財産であり、要求があったときは当社に返還され、本資料を取得した方が作成した写しは破棄されるものとします。本資料を取得された方及び当社のいずれも上記に反する表明や誓約に依拠することはできません。

本資料作成日：令和7年1月24日